

家庭保管用

この用紙は家庭保管用です。(もう一枚の学校提出用にも同じ内容を記入し、提出して下さい。)

1 自宅周辺、登下校の途中、ならびに学校周辺の避難施設・避難場所をそれぞれ確認し、以下のA~Cの3つのケースに分けて記入して下さい。

A 自宅周辺（家族の集合場所）で被災した場合

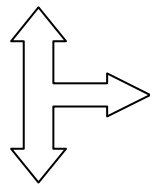
避難場所に指定されている「近くの学校や公民館や公共施設など」

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

B 登下校途中で被災した場合



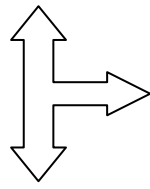
自宅



行程の半分



学校



自宅へ
向かうことを
考える

駅や公共施設など、
「判断に迷った場合、または、移動が困難な場合の待機場所」を
個々の通学方法・手段に応じて書きだす。

待機場所

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

学校へ
向かうことを
考える

待機場所

駅や公共施設など、
「判断に迷った場合、または、移動が困難な場合の待機場所」を
個々の通学方法・手段に応じて書きだす。

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

C 学校周辺で被災した場合

避難場所に指定されている「近くの学校や公民館や公共施設など」

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

2 家族との連絡方法を確認し、記入して下さい。電話回線の使用が見込まれる場合と、見込まれないほどの大災害の場合に分け、それぞれについて確認し、以下の

DとEの2つのケースに分けて記入して下さい。

D 電話回線の使用あるいは早期の復旧が見込まれる災害の場合

この場合、携帯電話やスマホなどの情報通信端末類とメールはつながりにくいものとの前提で話し合ってください。実際に、東日本大震災の際の音声通話は「携帯電話類 < 家庭用固定電話 < 公衆電話」のようにつながりやすかったことが報告されています。被災時には電話がつながりやすくなるのを待って、自分自身ならびに家族の安否を確認したら学校または担任に連絡して下さい。

学校関係への電話

* HRで記入

松本第一高等学校	担任自宅固定電話	担任・携帯・スマホ

E 電話回線の使用あるいは早期の復旧が見込まれないほどの大きな災害の場合

この場合、自宅入口にメモを残す、または、予め家族で決めておいた避難場所にメモを残す、などの手段しかありません。しかしながら、いかなる通信手段も断絶されてしまった東日本大震災の際には、これらの方法が機能的に働いたことが報告されています。また、自分が情報通信端末を持っていても、家族は持っていない（避難時に持たずに逃げた、避難時に流された・落とした・壊れた、など）場合も想定しておく必要があります。

メモを残す場所

* 家族で話し合って記入

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

F 災害用伝言ダイヤル（171）や、各携帯電話会社の災害用伝言板サービスを活用する場合

- ・ 固定電話は毎月1日と15日に体験ができます。
- ・ 携帯電話やスマホなどからの利用については、契約している通信会社のHPを見てそれぞれ確認してください。
- ・ 家族・友人で体験し、シミュレーションしておくことは大切です。こういう場合の（緊急時に備えるための）情報通信端末の所持です。

松本第一高等学校 平成 年度入学 入学時 1年 組 生徒氏名 担任名

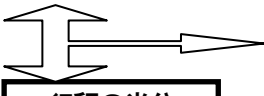
1 自宅周辺、登下校の途中、ならびに学校周辺の避難施設・避難場所

A 自宅周辺（家族の集合場所）で被災した場合

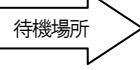
避難場所に指定されている「近くの学校や公民館や公共施設など」

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

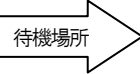
B 登下校途中で被災した場合



自宅へ
向かうことを
考えた場合



学校へ
向かうことを
考えた場合



第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

C 学校周辺で被災した場合

避難場所に指定されている「近くの学校や公民館や公共施設など」

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

2 家族との連絡方法の確認

E 電話回線の使用あるいは早期の復旧が見込まれないほどの大きな災害の場合

この場合、自宅入口にメモを残す、または、予め家族で決めておいた避難場所にメモを残す、などの手段しかありません。しかしながら、いかなる通信手段も断絶されてしまった東日本大震災の際には、これらの方法が機能的に働いたことが報告されています。また、自分が情報通信端末を持っていても、家族は持っていない（避難時に持たずに逃げた、避難時に流された・落とした・壊れた、など）場合も想定しておく必要があります。

メモを残す場所

* 家族で話し合って記入

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

松本第一高等学校 平成 年度 年 組

生徒氏名 担任名

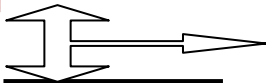
1 自宅周辺、登下校の途中、ならびに学校周辺の避難施設・避難場所

A 自宅周辺（家族の集合場所）で被災した場合

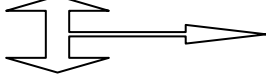
避難場所に指定されている「近くの学校や公民館や公共施設など」

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

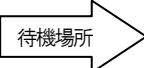
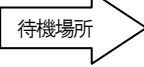
B 登下校途中で被災した場合



行程の半分



自宅へ
向かうことを
考えた場合



学校へ
向かうことを
考えた場合

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

C 学校周辺で被災した場合

避難場所に指定されている「近くの学校や公民館や公共施設など」

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補

2 家族との連絡方法の確認

E 電話回線の使用あるいは早期の復旧が見込まれないほどの大きな災害の場合

この場合、自宅入口にメモを残す、または、予め家族で決めておいた避難場所にメモを残す、などの手段しかありません。しかしながら、いかなる通信手段も断絶されてしまった東日本大震災の際には、これらの方法が機能的に働いたことが報告されています。また、自分が情報通信端末を持っていても、家族は持っていない（避難時に持たずに逃げた、避難時に流された・落とした・壊れた、など）場合も想定しておく必要があります。

メモを残す場所

* 家族で話し合って記入

第 1 候 補	第 2 候 補	第 3 候 補